

平成 22 年11月8日 (一部訂正・加筆)

関係各位

北海道バスケットボール協会  
理事長 森野 和泰

平成 22 年度、全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会・北海道予選会  
札幌山の手高校女子バスケットボール部の出場について

拝啓 秋冷の候ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素より当協会活動に対しお引き立てご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて平成21年度より全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会(以下「ウインターカップ」という)の出場資格に新たに付記された事項として、全国高等学校総合体育大会バスケットボール選手権大会(以下「インターハイ」という)優勝・準優勝男女各2チームに全国枠として選抜大会の出場権が与えられることが、(財)日本バスケットボール協会において決定されました。これを受け、北海道バスケットボール協会(以下「道協会」という)として、全国選抜優勝大会・北海道予選会(以下「選抜道予選」という)に全国推薦該当チームが出た場合の参加基準、申し合わせ事項を作成しました。内容については皆様方既に周知されているかと思いますが、下記をご参照ください。

「全国高等学校総合体育大会バスケットボール選手権大会の優勝チームおよび準優勝の男女各2チームに該当するチームは、日本バスケットボール協会より全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会に推薦されることから、北海道予選会に出場しないこととする。」(平成 21 年度より)

「第 63 回全国インターハイ」、沖縄において札幌山の手高校女子バスケットボール部が“全国優勝”、札幌山の手高校のウインターカップへ出場権は全国推薦となり、このことで本道から女子は二チーム出場できることとなり、関係者そして関係チームにとって大変うれしい結果となりました。インターハイ優勝、そして国体少年女子優勝の快挙はバスケットボール関係者のみならず、広く本道のスポーツ界より喜びの声、その偉業を称える賛辞をたくさんいただきました。そんな話をしているなか選抜道予選に関して関係各位・報道機関、そしてバスケットボールファンの方々から札幌山の手高校の出場を望む声、全国トップの試合を是非もう一度本道において、そして子供達にレベルの高いプレーを見せたいという要望が多くの方々から寄せられました。選抜道予選出場に関する申し合わせ事項、「北海道予選会に出場しないこととする」について基本となった考えは、全国推薦チームの優位性という点から配慮したものであり、不備があったことを深く反省いたしております。全国推薦のチームが出場することが広く本道の強化・普及に繋がるという視点に立って考えられていない部分があり、申し合わせ事項は再検討・再提案しなければならないものと考えております。競技を支えていただいているファンの方々に見ていただく事が競技力の強化・普及など協会として真の目的、そして第一に考慮しなければならない当該チーム対しての配慮に欠けている内容であったことを重ねて陳謝申し上げます。皆様からいただいている札幌山の手高校並びに国体少年女子全国優勝への大きな反響・賛辞なども考慮し、高校女子トップレベルのプレーを見ていただくことが協会としての大きな使命であり、バスケットボール競技の振興に大きく貢献するものと考えます。これらを踏まえ検討の結果、道協会常務理事会において「第41回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会北海道予選会」に札幌山の手高校女子の選抜道予選出場を決定させて頂きました。尚、出場枠は道協会推薦とし準決勝で勝利しウインターカップ出場が決定したチームとの決勝戦と致します、この決勝戦が代表2チームの全国大会に向けて競技力の向上、しいてはバスケットボール競技の活性化に繋がるゲームになるものと確信しております、そして札幌山の手高校には是非「三冠」を取っていただけることを切に願うところです。本件が決定するまでに時間を要し関係各位に混乱とご心配をお掛けしました事を深くお詫びいたすと共に、今後ますますバスケットボール競技の普及発展のためご理解ご協力をお願い申し上げます。

敬具